



主題・スローガン

- | | | |
|---------|--------------------------|---------------|
| 西宮クラブ会長 | 「みんなで考えよう！」 | 濱 浩一 |
| 地域奉仕・ | 「地域社会とのコミュニケーションを見つめ直し | |
| 環境事業主査 | 「私たちにできる社会貢献活動に取り組みましょう」 | 廣瀬一雄 |
| 六甲部部长 | 「困難な時にこそYMCA とともに進もう」 | 若林成幸 |
| 西日本区理事 | 「原点を知り将来に生かす」 | |
| | 「立ち上がれワイズモットーと共に！」 | 田上 正 |
| アジア会長 | 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 | |
| | 「今すぐ実行を」 | Shen Chi-Ming |
| 国際会長 | 「フェローシップとインパクトで次の100年へ」 | |
| | 「自己を超えて、変化を起こそう」 | K.C.Samuel |

**2023年
1月
897号
(76期7号)**



1月 西日本区強調活動 EF

EF(エンダウメントファンド)の意味を理解し、国際奉仕団体のメンバーとして、記念すべき出来事、行事などにあわせて喜びの献金をしましょう。
小田哲也 国際・交流事業主任(福岡中央)

西宮ワイズメンズクラブ 2023年1月第一例会

- 日時：1月13日(金) 19:00~20:30
場所：西宮 YMCA 3階会議室
ドライバー：重村仁メン、阪根新メン
- | | |
|------------------------|--------|
| 1. 開会挨拶、開会点鐘 | 濱 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 今月の聖句 | 小野メン |
| 4. ゲストスピーカー紹介 | 濱 会長 |
| 5. 食前感謝 | 小野メン |
| 6. 食事、懇談 | |
| 7. 入会式「森川俊介」氏 | 司式 濱会長 |
| 8. ゲストスピーチ | |
| 『神戸いのちの電話の活動について』 | |
| 神戸いのちの電話理事 広報委員長 中道京子氏 | |
| 9. お誕生日のお祝い | 濱 会長 |
| 10. ワイズニュース | 濱 会長 |
| 11. YMCA ニュース | 藤田担当主事 |
| 12. 閉会挨拶、閉会点鐘 | 濱 会長 |

HAPPY BIRTHDAY / JANUARY

- 1日 濱崎メン、廣瀬メン 2日 石井メン
10日 濱美智子メネット
28日 重村真由美メネット

今月の聖句

『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである』こうして正しい人たちは永遠の命にあずかるのである。

マタイによる福音書第25章40節、46節
小野勅紘選

12月出席状況 (在籍会員数 21名)

第一例会 (23金)	第二例会 (9金)
メン 12名	メン 12名
メネット 2名	メネット 0名
ゲスト 3名	ゲスト 1名
MU 3名	計 12名
合計 15名	出席率 71.4%

ファンド

	12月	累計
ニコニコファンド	¥0	¥6,000
BF	¥0	¥12,045

会長 濱 浩一 直前会長 廣瀬 一雄 副会長(次) 未 副会長 石井 恭子
書記 小野 勅紘, 山口 吉郎 会計 重村 仁, 濱崎 進一 監事 岡田 佑一郎, 阪根 新 担当主事 藤田 良祐
地域奉仕・環境事業主査 廣瀬 一雄 LD 委員 馬場 貴英 組織検討安全対策委員 山口 吉郎

会長メッセージ

会長 濱浩一

新年おめでとうございます。穏やかに新年を迎えられたことと思います。



いよいよ次年度役員を決める時期となり、会員皆様にご協力をお願いしていましたが、1月例会では良い報告が出来ることとなりました。引き続き、次の体制においても皆

様のご協力を宜しくお願い致します。また、新会員をお迎えしての入会式も予定されていますので、幸先の良い年始例会となりました。感謝！

1月27日（金）の第二例会では使用済み切手整理を行いますので、使用済み切手をお持ちください。今年は2月18日までに神戸YMCAに集めて、六甲部で一括して切手回収業者に送る計画をしています。

さて、1月28日（土）には、六甲部メネットの六甲部絵本プロジェクトによる絵本贈呈式が神戸YMCA 三宮会館（13:0～14:30）で予定されています。

2月4日（土）～5日（日）には、第3回東西日本区交流会 in KOBEがANAクラウンプラザホテル神戸にて開催されます。5日のエクスカージョン（竹中道具館見学）のサポート依頼がきています。

2月23日（木・祝）には、ワイズメンズクラブ創立100周年の六甲部記念植樹祭（場所未定）が予定されています。

まだまだコロナ感染拡大が落ち着きませんが、行事や作業が目白押しですので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

芦屋・西宮クラブ合同 クリスマス祝会報告

ドライバー 清水規裕、濱浩一

12月23日（金）18:00よりホテル竹園芦屋にて芦屋クラブ・西宮クラブ2022年クリスマス祝会（西宮クラブ12月第一例会）が開催され多くの会員が参加しました。

大岩芦屋クラブ会長の開会挨拶・開会点鐘、ワイズソング斉唱に続き、第1部礼拝の部は、島田メン司会により賛美歌、開会お祈り、聖書朗読と進められ、権甲植メンの奨励「マリアの賛歌」お祈り、賛美歌と厳粛に祈りの時を持ちました。



第2部祝宴の部は、福原メンと柏原メンにより進行され、ゲスト・ビジター紹介、食前感謝、乾



杯挨拶のち会食・懇談となり、Madoca Yauchi
カルテットの音楽を楽しみながら、ダンスもあり
クリスマス祝会らしく時が進み、アピールタイム
の後、きよしこの夜とともに私（西宮クラブ会長）
の閉会挨拶・閉会点鐘となり、芦屋クラブとの
合同クリスマス祝会は21:00にお開きとなりまし

た。たくさんの会員のご参加をありがとうございました。
（詳しくは芦屋クラブのプリテンと添付
の写真をご覧ください。）



松に鶴、「お目出度い？ コウノトリ」のお話しです

藤原俊夫

「松に鶴」はお目出度い象徴としてよく知られています。笑福亭鶴瓶の師匠、故六代目笑福亭松鶴の芸名「松鶴（ショカク）」はそれを表したものの、つまり瑞鳥とされる丹頂鶴が、花笠音頭で「めでためでたの若松様よ～」と称えられる松の枝にとまっている姿を吉兆としていたのです。

しかし丹頂鶴が松の枝に止まることはありませんし、営巣もしません。丹頂鶴と大きさの似たコウノトリと間違われていたようです。今では貴重な存在のコウノトリですが、昔は江戸のような大都会にも結構沢山いて松の木に営巣したりするケースも多かったようで、明治時代以前は「松上の鶴」の絵画のモチーフになっていたこともあったようです。

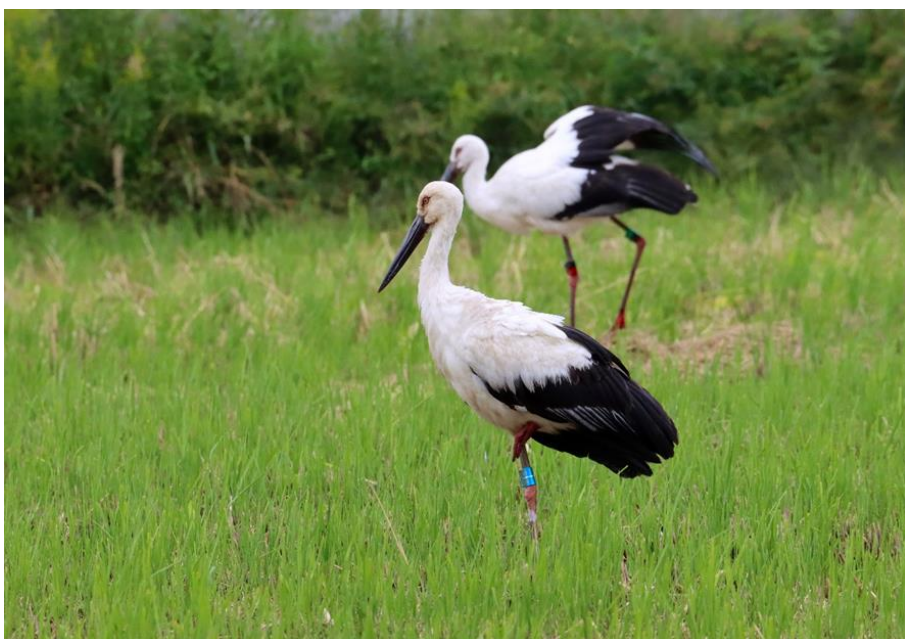
コウノトリは「鶴」とは違う種類の鳥なので、正確には間違いでした。しかし、同じような白を基調とした見栄えのする大型の鳥なので鶴の仲間と考えられていたのかも知れません。また、頭が赤く（頭頂部が赤＝丹色）・目の黒い丹頂鶴の方が、黄色地のなかに小さな黒点というちょっと怖い感じのする瞳・頭は全部白色、というコウノトリより見栄えがすることもあり、松にとまらせる鳥として丹頂鶴を描く画家が多かったのではないのでしょうか？

日本では 1971 年に日本産の野生のコウノトリは絶滅しました。その後、各地で中国から輸入した個体を繁殖させ、野生に返す試みが続けられた結果、2022 年には全国で飼育 182 羽屋外 309 羽にまで増えてきました。

コウノトリは豊岡のコウノトリの郷公園で飼育個体も屋外個体も見ることができますが、小野市・加古川市・稲美町でも、ため池で餌をあさ

ったり、電柱のてっぺんに止まったり、悠然と空を舞う姿を見かける機会が増えています。興味のある方は是非お出かけください。なお、稲美町の天満大池では将来的にコウノトリが定着してくれるようにと、池の大改修工事が始まっており、数年先が楽しみです。

ところで、丹頂鶴が飛び姿を描く場合、羽を白く尾を黒く描く人がおられます。立ち姿では尾の部分が黒く見えるように感じるの羽は白いの思ひ込むのですが、実際は逆で尾が白く羽の一部が黒いのです。これはコウノトリも同じこと、あらためて三現主義〈現場・現物・現実〉の大切さを考えさせられます。



じゃがいもファンド事業 無事完了 感謝！

ファンド委員長 山本常雄

今期のじゃがいもファンドは値上げ等厳しい条件の中でも皆様の多大なるご協力のお蔭と、無駄を減らし効率的に展開することで、クラブ運営の根幹をなす活動資金を確保することが出来ました。

年々事業環境は厳しさを増していますが、美味しいじゃがいもやかぼちゃを提供して下さる十勝ワイズの生産者の方々、無事運搬を担って下さるドライバーの方々に感謝する心を忘れず、来年もまた継続出来れば良いと考えております。

今回の反省点と致しましては、宝塚便と佐川便との日程不一致(約2週間のズレ)により現場が多少混乱したこと。又、折角の美味しい秋の実りですので、現物給付の形で何かボランティア活動ができないか?来年以降の課題にしたいと思います。

数量はじゃがいも 402 箱、かぼちゃ 62 箱、三種詰合 166 箱、総計 630 箱となり昨年比 7%減となりましたが収益は所期の目標を達成することが出来ました。

ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

大阪泉北クラブ 40周年記念例会

小野勅紘

早いもので、大阪泉北クラブの30周年記念例会に、芦屋クラブの上野、柏原、西宮クラブの廣瀬各メン・メネットご夫妻と一緒に参加してもう10年になるのですね。当時同クラブの拠点はそのクラブ名の通り堺市にあり、例会も堺市の会場で開催されて、その節は遠藤さんが私のためにお見合いの席までご用意下さったのですがご期待に応えることは出来ませんでした。

さて、泉北の名の通り、10年前は堺の刃物文化に着目し、堺の職人さんを招いて包丁の出来上がるまでと題して千利休の茶道の神髄と刃物についての講演があったことを覚えています。(茶道は千利休による普茶料理から始まったという説。茶道はその料理からの一環の帰結)

しかし、現在は会員も堺に拘らず多方面から集まっています。「泉北」の名を変更してもよいのでは

とも思うほどでしょう。しかし、永年親しんだお名前を大事にされておられる。(親クラブの堺クラブも解散して吸収されている)

阪和部大阪泉北クラブの40周年記念例会が2022年11月19日(土)12時から大阪YMCA土佐堀会館で開催されました。

西宮クラブからは浅野、万本の各メンと私の3人が参加しました。参加者約150名。食事はコロナの関係もあり、ケータリングで各席毎にそれぞれお食事が並びました。油物が多かったせいか半分位余っていた。持ち帰り用のパッケージがあればよかったと思った。

オープニングの幕が開くと、そこには70歳以上が入会資格という「ウィークデーアンサンブル」の面々が、夜明けの歌をはじめとするオールディーズの数々を演奏されました。女性のボーカルをはじめバイオリン、ピオラ、チェロ、フルート、クラリネット、ピアノと多彩。

そしていよいよ、河崎会長の開会点鐘、松野メンの開会祈禱、飯沼メンの聖句朗読と続いた。阪和部に限っては支えるYMCAが大阪、奈良、和歌山と3か所に亘るが、点鐘やお祈りなどの共通事項は代表が行い、本日は小川大阪YMCA総主事が代表で行い、また田上西日本区理事、正野阪和部部長の挨拶。今期の田上理事の挨拶は細かく所属メンバーのユニークなエピソードがついており、よく調べていられる。

記念アクトではYMCAに対してキャンプ用具が贈呈。そしてIBCを締結している台湾のA-LISTクラブからの記念品贈呈がオンラインを通じて披露された。



2部の懇親会ではさきほどの「ウィークディア

ンサンプル」の演奏と猪瀬ワイズの切り絵や、絵画などのオークションがあり、売上の約15万円ほどがウクライナの支援に提供された。アピールタイムでは来春2月4日-5日開催の東西交流会のアピールがあり、閉会点鐘となりました。

YMCA ニュース

担当主事 藤田良祐

あっという間に2022年が過ぎ去り、新しい年を迎えました。年末にはサッカーワールドカップで日本代表がドイツ・スペインを相手に「ドーハの歓喜」を見せてくれたことが記憶に新しいですが、個人的にも思いもよらなかった経験をしたり、偉大な先輩との別れがあったり、年末にはコロナ陽性になったりと、色々なことがあった1年だったと振り返っています。12月のクリスマス職員礼拝で中道会長から、救い主であるイエス・キリストが赤子の姿で生まれたのは、「弱さ」の中にこそ「力」が与えられていることに気づくためだったというメッセージをいただきました。社会的に、精神的に、身体的に、様々な弱さを抱える私たちですが、その弱さを受け入れ神様の言葉に耳を傾けることで、新たな力を感じることができると。新しい年がそんな1年になればと願いつつ、2023年も西宮クラブの皆様と共に歩んでいきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1. 国際協力募金

12月11日(日)に神戸元町の大丸前で3年ぶりに街頭募金を行い、ワイズメン、職員、ボランティア、留学生など24名の方々にご参加いた



きました。感染症対策のためマイクを使って呼びかけを行ったり、時間を短縮したりしての実施でしたが、募金していただいた方々に直接、感謝を伝えることができる機会になりました。当日は、多くの方々のご協力により34,895円の募金が集まりましたことを報告させていただきます。

YMCAの国際協力募金は世界中の人々が平和にいきいきと暮らすことができる世界を創り出すための国際協力・奉仕活動に用いられます。西宮クラブの皆様にも、この活動を覚えてお支えいただいていることに感謝申し上げます。

2. 西宮YMCA ニュース

12月には西宮の育成センターでもクリスマス会を行い、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。用海育成センターでは、子どもたちのやりたいことを発表する形でクリスマス会を実施しています。子どもたちはそれぞれが自由遊びなどの時間をつかって、わいわい相談しながら、準備を行いました。グループの友だちと準備を進める中で、うまく盛り上がる日もあれば、時にはお互



いの想いがぶつかり合いケンカになる場面もあります。お互いを認めあい、互いの意見を受け入れ、またリーダーシップを発揮しながら、一人ひとりが輝ける場になればと願っています。当日にはそれぞれが練習の成果を発揮して、みんなで楽しむクリスマス会になりました。(森川俊介)



自己紹介

西宮 YMCA 主事 森川俊介

1月より西宮ワイズメンズクラブメンバー主事を仰せつかりました。神戸 YMCA に入職して7年目を迎えました。1年目より西宮 YMCA で主に学童保育の事業を中心に担当させていただいています。YMCA との出会いは3歳児教室。それから小学生の野外活動やキャンプ、大学生の時のボランティアリーダー活動と西宮 YMCA で、様々なプログラムを通して大勢の方々との出会い、育ていただきました。入職してからもワイズメンズクラブの皆さまをはじめ、多くの方々にお支えいただきながら仕事をさせていただいています。このことを心に留め、恩返しができるように、これからも歩みを進めていきたいと思っておりますので、皆さま今後ともどうぞよろしくお願い致します。



ワイズニュース

【今後の予定】

- 1月11日(水) 六甲部 CS 環境事業担当者会議
神戸 YMCA 18:00~
- 1月13日(金) 第一例会 19:00~20:30
ドライバー阪根メン、重村メン
- 1月27日(金) 第二例会 19:00~20:30
BF 切手整理
- 1月28日(土) 六甲部絵本プロジェクトによる
絵本贈呈式
神戸 YMCA 13:00~14:30
- 2月4日(土)-5日(日) 第3回東西日本区交流会
ANA クラウンプラザホテル神戸
- 2月23日(木・祝) ワイズメンズクラブ創立100
周年六甲部記念植樹祭(場所未定)

編集後記

ブリテン委員 山口吉郎

新年あけましておめでとうございます。

お陰様でブリテンを担当してから2回目の新年を迎えることができました。これもメンバーおよび関係者の皆さまのご協力があったることと、心より感謝いたしております。

これからもワイズメンのコミュニケーションの場としての会報をめざし、皆さまのご意見・情報等をクラブ内外に届けて参りますので、よろしくお願い致します。

